

YT40ユーザマニュアル

ご利用にあたっての注意事項



DoRACON

Tower Router YT40

1. 製品紹介



インジケータ

4Gインジケータライト：インジケータライトが緑色に点灯すると接続済み、赤く点滅すると未接続、赤と緑が相互に点滅すると接続中を意味します。4GLTE以外のネットワークでは点灯しません。

Wi-Fiインジケータライト：データ転送時に青く点滅します。

システムインジケータライト：起動時やアップデートする際に点滅します。また、起動とアップデートが完了すると、常に点灯している状態に変化します。

再起動ボタン：電源オンの状態で、2回連続で3秒長押しすると再起動できます。

Nano SIM スロット：Nano SIMカードを一枚挿入可能です。挿入方向は、スロット横の図をご参考にしてください。※電源オフの状態で挿入してください。

初期化ボタン：電源オンの状態でボタンを6秒以上長押しすると、初期化ができます。

製品企画

- **利用シーン**：家庭、オフィス、IoT、セキュリティ
- **最大接続数**：31台
- **CPU**：Qualcomm QM215
- **ポート**：WAN×1/ LAN×2 10/100 Mbpsに自動適応
- **ボタン**：再起動ボタン/ 初期化ボタン
- **入力電力**：DC12V/2A
- **SIMカード**：Nano SIM×1
- **LED**：システムインジケータライト/ Wi-Fiインジケータライト/ 4Gインジケータライト
- **サイズ**：長さ12.8cm×幅8.7cm×高さ18.6cm
- **アンテナ**：2×2.4G アンテナ/ 2×5G アンテナ/ 2×4G アンテナ
- **周波数帯域**：2.4GHz/ 5GHz

- 周波数帯域：2.4GHz/ 5GHz
 - 通信規格：IEEE802.11 a/b/g/n/ac
 - LTE FDD：B1/2/3/4/5/7/8/9/12/13/17/18/19/20/25/26/28/66
 - LTE TDD：B34/38/39/40/41(194M)
 - WCDMA：B1/2/4/5/6/8/9/19
 - GSM：B2/3/5/8
 - 動作環境
- 作動温度：通常0℃～+45℃
 保存温度：-20℃～75℃
 作動湿度：10%～90%
 保存湿度：10%～90%
- 4G LTEアップロード最大速度：50Mbps
 - 4G LTEダウンロード最大速度：150Mbps

2. ご利用方法

1. 端末起動

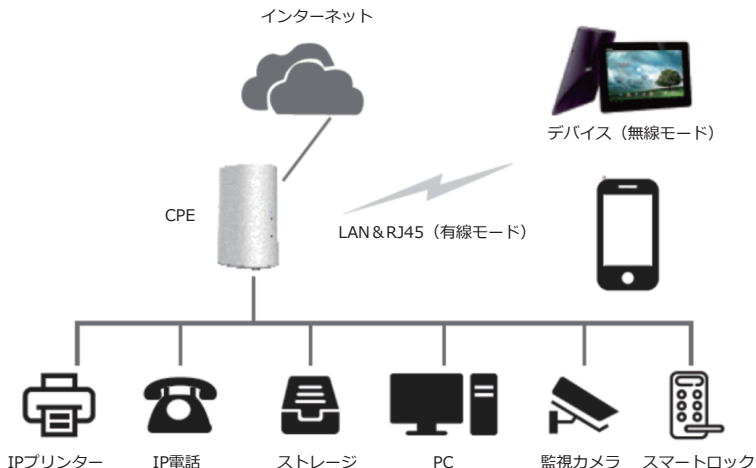
端末と電源アダプターを接続し、コンセントに繋げると自動で端末が起動します。起動すると、デフォルト設定の“4G LTE”モードでネットワークに接続し、Cloud SIMでの接続が行われます。4Gインジケータライトが緑色に点灯し、正しくネットワークに接続されていることをご確認ください。有線接続を行いたい場合は、本端末のWANポートにケーブルを接続して、ご利用の端末機器のLANポートへと接続してください。

お手持ちのデバイスとの接続

本機はWi-Fi接続もしくはLAN端子での有線接続に対応しています。

有線接続方法：LANケーブルをLAN1/2ポートに接続し、お手持ちのデバイスにも同じケーブルを繋ぐ。

Wi-Fi接続方法：お手持ちのデバイスで本機のSSIDを選択し、PWを入力して接続。※SSID、PWは端末裏面に記載あり。



よくあるご質問

1. インターネットにアクセスできないとき

SSIDとパスワードが正しいことを確認してください。継続してネットワークを利用できない場合は、端末を一度再起動してください。

再起動を行ってもご利用できない場合は、初期化ボタンから端末を初期化し、カスタマーサービスにご連絡ください。

2. Wi-Fiのパスワードを忘れた場合

初期パスワードは端末の底面をご確認ください。

端末の管理画面にログインし、ネットワーク>無線5GHz/無線2.4GHz>Wi-Fi/パスワードからパスワードをご確認ください。

また、管理画面のログインIDとパスワードをお忘れの場合は、端末の初期化を試みてください。初期化後はデフォルトパスワードY4dkChを使用し、端末に接続してください。

3. 初期化の方法

方法1：すべてのインジケータライトが点滅するまで初期化ボタンを6秒間長押ししてください。

方法2：端末の管理画面にログインし、システム>再起動>初期化を選択してください。

4. 端末管理画面にログインできない

まず、有線で端末に接続した場合、ケーブルに異常がないかを確認してください。

次に、管理画面にログインするためのIPアドレスが正しいかを確認してください。管理画面のIPアドレスは192.168.1.254になります。そして初期化をして端末を再起動してください。

端末管理画面について

1. 管理画面へのログイン

端末起動後、お使いのデバイスで無線LANに接続することができます。SSIDの名称は「YT40-2g-*****」と「YT40-5g-*****」の2種類あります。各SSIDの初期パスワードは端末のラベルを確認してください。

また、LANケーブルで直接パソコンなどのデバイスに接続することも可能です。デバイスと端末を接続した後、ご利用デバイスのブラウザを開き、検索バーに端末管理画面のIPアドレス「192.168.1.254」を入力し検索して管理画面にアクセスしてください。



図1-1

管理画面にログインする際の初期ユーザー名は「admin」、初期パスワードは「Y4dkCh」です。パスワード入力後、「ログイン」をタップするとログイン、「リセット」をタップすると入力値を消去できます。

2. 管理画面概要

管理画面では様々な設定変更が行えます。画面左のメニューにて各項目への切り替えが可能です。画面中央には各項目に応じた内容が表示されます。



図2-1

項目については次の表に記載の通りです：

表1

タイトル	サブタイトル	内容説明
ステータス	概要	端末のシステム情報、インターネット接続情報、DHCP割り振り情報、DHCPv6割り振り情報及びダイナミックDNS情報
ネットワーク	WAN	DHCP対応、ブリッジ、Static (固定IPアドレス)、PPPoE (PPPoEダイヤルアップ接続)、4G LTEの接続タイプの選択
	LAN	LAN IP設定 DHCPサーバー設定
	ファイアウォール	ファイアウォールの設定、ポート転送設定
	MACフィルター	MACフィルターの設定
	無線2.4GHz	無線2.4GHz設定
	無線5GHz	無線5GHz設定
	モバイルネットワーク	ネットワークの詳細設定
システム	管理者権限	端末のパスワード変更、言語選択
	初期化/アップデート	初期化設定、バージョンアップデート
	再起動	端末を再起動する
ログアウト	ログアウト	管理画面からログアウトする

3. ステータス

3.1 ステータス

ステータスのメニューでは端末の概要を確認することができます。詳細で本端末の現在のシステム情報やインターネット接続情報、接続機器情報およびダイナミックDNSステータスを確認できます。表示項目の詳細については表2をご確認ください。

The screenshot shows a web interface for device status. On the left is a navigation menu with 'ステータス' (Status) selected. The main content area is divided into sections: '概要' (Overview) with system details like model (MNS-CSIM-YT40) and usage time (16d 16h 54m 27s); 'ネットワーク' (Network) showing LTE status (connected), SIM mode (Cloud SIM), signal strength (-83dBm 100%), and data usage (1.35GB down, 2.97GB up); 'IPV4WANステータス' (IPv4 WAN Status) with a 'weth0' interface icon; 'IPV6WANステータス' (IPv6 WAN Status) with a 'wan?' icon and '未接続' (Not connected) status; and connection information tables for IPv4 (Host name, IPv4 address, MAC address) and IPv6 (Host name, IPv6 address, DUID). A note at the bottom states 'アクティブなリースはありません' (No active leases).

図3-1

表2

表題	項目	説明
システム	端末型番	GLMR21A02
	バージョン	本端末のシステムファームウェアバージョン
	S/N	端末識別番号
	使用時間	端末の使用時間
ネットワーク	IPv4 WAN状態	IPv4 WAN状態
	IPv6 WAN状態	IPv6 WAN状態
接続機器情報 (IPv4)	DHCP割り振りした端末名、IPv4アドレス、MACアドレス	
接続機器情報 (IPv6)	DHCPv6割り振りした端末名、IPv6アドレス、DUID (DHCP固有識別子)	

4. ネットワーク

4.1 WAN

ネットワーク> WANをタップしてWAN設定画面に入ることができます。デフォルトネットワークモードは“4G LTEネットワーク”です。



図4-1 (1)

端末DHCP、ブリッジ、Static（固定IPアドレス）、PPPoE、4G LTEの5種類のモードに対応しています、フィルターから各モードを選択することができます。



図4-1 (2)

“4G LTE”モード以外の4種類のモードを選択する場合は、端末がもう1つのルーターと接続する必要があります。また、Static（固定IPアドレス）モードを選択した場合は、設定したIPアドレスは外部のルーターと同一ネットワークセグメントに設定する必要があります。

4.1.1 DHCP（自動アクセス）

“DHCP（自動アクセス）”を選択するとDHCPモードに切り替わります。



図4-1-1

詳細設定

ネットワークモード：DHCP（自動アクセス）

DNSサーバー：使用状況に応じて選択してください。自動的に割り振りする場合は“自動”、手動的に割り振りする場合は“手動”を選択してください。

DNSサーバー1・2：手動割り振りのDNSサーバーアドレスを記入。DNSサーバーアドレスはドメイン名には対応せず、IPアドレスにのみ対応しています。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.1.2 ブリッジ

“ブリッジ”を選択して、“ブリッジモード”に切り替わります。



図4-1-2

詳細設定

接続タイプ：ブリッジ

DNSサーバー：使用状況に応じて選択してください。自動的に割り振りする場合は“自動”、手動的に割り振りする場合は“手動”を選択してください。

DNSサーバー1・2：手動割り振りのDNSサーバーアドレスを記入。DNSサーバーアドレスはドメイン名には対応せず、IPアドレスにのみ対応しています。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.1.3 Static (固定IPアドレス)

“Static (固定IPアドレス)”を選択すると、固定IPアドレスネットワークモードに切り替わります。



図4-1-3

詳細設定

接続タイプ：Static (固定IPアドレス)

IPアドレス：固定IPアドレス

ネットマスク：サブネットマスク

ゲートウェイ：ゲートウェイアドレス

DNSサーバー1・2：手動割り振りのDNSサーバーアドレスを記入。DNSサーバーアドレスはドメイン名には対応せず、IPアドレスにのみ対応しています。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.1.4 PPPoEモード（PPPoEダイヤルアップ接続）

“PPPoE（PPPoEダイヤルアップ接続）”を選択すると、PPPoEダイヤルネットワークモードに切り替わります。



図4-1-4

詳細設定

ユーザーID - ダイヤルアップ接続するユーザーID

パスワード - パスワード

DNSサーバー：使用状況に応じて選択してください。自動的に割り振りする場合は“自動”、手動で割り振りする場合は“手動”を選択してください。

DNSサーバー1・2：手動割り振りのDNSサーバーアドレスを記入。DNSサーバーアドレスはドメイン名には対応せず、IPアドレスにのみ対応しています。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.1.5 4G LTE

“4G LTE”モードを選択すると4Gネットワークに切り替えます。本端末のデフォルト設定は“4G LTE”です。



図4-1-5

詳細設定

ネットワークモード：4G LTE

DNSサーバー：使用状況に応じて選択してください。自動的に割り振りする場合は“自動”、手動で割り振りする場合は“手動”を選択してください。

DNSサーバー1・2：手動割り振りのDNSサーバーアドレスを記入。DNSサーバーアドレスはドメイン名には対応せず、IPアドレスにのみ対応しています。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.2 LAN

4.2.1 LAN IPアドレス設定

ネットワーク>LANをタップしてLAN設定画面に入ることができます。



図4-2-1

詳細設定

IPアドレス：IPアドレスを入力してください。

ネットマスク：サブネットマスクを入力してください。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.2.2 DHCPサーバー

同一画面の下部では、DHCPサーバーの設定を行うことができます。



図4-2-2

詳細設定

有効/無効：有効を選択すると端末のDHCPサーバーが起動し、無効を選択すると停止します。実際の使用状況により、有効と無効を選択してください。

DHCP先頭アドレス：先頭アドレスを入力してください。

DHCP末尾アドレス：末尾アドレスを入力してください。

DNSサーバー1・2：手動割り振りのDNSサーバーアドレスを記入。DNSサーバーアドレスはドメイン名には対応せず、IPアドレスにのみ対応しています。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.3 ファイアウォール

4.3.1 基本設定

ネットワーク>ファイアウォールをタップし、ファイアウォール設定画面に入ることができます。



図4-3-1

詳細設定

ファイアウォール機能：「有効」と「無効」を選択することができます。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻ることができます。

4.3.2 ポート転送

基本設定の隣のタブでは、ファイアウォールのポート転送設定画面に入ることができます。



図4-3-2

詳細設定

新しいポート転送名：新しい名称を設定できます。

プロトコル：“TCP+UDP”、“TCP”、“UDP”と“その他”の4種類を選択することができます。

外部ゾーン：“WAN”のみ選択することができます。

外部ポート：外部ポートを入力してください。

内部ゾーン：“LAN”のみ選択することができます。

内部IPアドレス：内部IPアドレスを入力してください。

内部ポート：内部ポートを入力してください。

「追加」をタップするとポート作成が完了します。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻ることができます。

4.4 無線MACフィルタリング

ネットワーク>無線MACフィルタリング”をタップして、無線MACフィルタリング設定画面に入ることができます。



図4-4

詳細設定

フィルターをタップすると無効、ホワイトリスト、ブラックリストを選択することができます。“無効”を選択すると、フィルタリング機能が無効になります。ホワイトリスト及びブラックリストは、MACアドレス一覧でアドレスまたはカスタマイズアドレスを選択する必要があります。詳細一覧はアドレスの詳細になります。削除をタップすると選択しているMACアドレスを削除することができます。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.5 無線2.4GHz設定

ネットワーク>無線2.4GHz”をタップし、2.4GHz無線Wi-Fiの設定画面に入ることができます。



図4-5

詳細設定

ネットワーク有効/無効：“有効”を選択すると端末の2.4GHz無線Wi-Fiが使えるようになり、“無効”を選択すると端末の2.4GHz無線Wi-Fiがご利用できなくなります。実際の使用状況により、有効と無効を選択してください。

ワイヤレスモード：“802.11bgn Mixed、802.11gn Mixed、802.11n Only、802.11b/g Mixed、802.11g Only”を選択することができます。

チャンネル：2.4GHz無線Wi-Fiのチャンネル，“オート”チャンネル“1-11”を選択することができます。

SSIDステルス：“有効”を選択すると2.4GHz無線Wi-FiのIDが非表示になり、お使いのデバイスで2.4GHz無線Wi-Fiを検索することができなくなります。“無効”を選択すると検索できるようになります。

SSID：端末の2.4GHz無線Wi-FiのSSIDを変更したい場合は、こちらから新しいSSIDをご入力ください。

暗号化方式：“WPA2PSK_AES”、“WPA_WPA2_Mixed”、“NONE”を選択することができます。

パスワード：端末2.4GHz無線Wi-Fiのパスワードを変更したい場合、こちらで新しいパスワードを入力することができます。 をタップするとパスワードを可視化できます。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.6 無線5GHz設定

ネットワーク>無線5GHz”をタップし、5GHz無線Wi-Fiの設定画面に入ることができます。



図4-6

詳細設定

ネットワーク有効/無効：“有効”を選択すると端末の5GHz無線Wi-Fiが使えるようになり、“無効”を選択すると端末の5GHz無線Wi-Fiがご利用できなくなります。実際の使用状況により、有効と無効を選択してください。

ワイヤレスモード：“802.11a/n/ac Mixed、802.11n/ac Mixed、802.11n Only、802.11a Only”を選ぶことができます。

チャンネル：5GHz無線Wi-Fiのチャンネル，“オート”、“36”、“40”、“44”、“48”、を選択することができます。

SSIDステルス：“有効”を選択すると5GHz無線Wi-FiのIDが非表示になり、お使いのデバイスで5GHz無線Wi-Fiを検索することができなくなります。“無効”を選択すると検索できるようになります。

SSID：端末の5GHz無線Wi-FiのSSIDを変更したい場合は、こちらから新しいSSIDをご入力ください。

暗号化方式：“WPA2PSK_AES”、“WPA_WPA2_Mixed”、“NONE”を選択することができます。

パスワード：端末5GHz無線Wi-Fiのパスワードを変更したい場合、こちらで新しいパスワードを入力することができます。 をタップするとパスワードを可視化できます。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

4.7 モバイルネットワーク設定

ネットワーク > モバイルネットワーク設定より、端末のネットワーク設定に入ることができます。図4-7をご参照ください。



図4-7

4.7.1 SIMカード選択

端末で使用するSIMをCloud SIMあるいは物理SIMのどちらかに設定することができます。物理SIMの抜き差しを行う際は端末の電源をオフしてから作業してください。

4.7.2 ネットワーク切り替え

ネットワーク切り替えは、Cloud SIMをご利用中の場合にのみ、実行できます。Cloud SIMネットワークの電波状況が芳しくない場合、ボタンをタップしてCloud SIMを切り替えることができます。

4.7.3 物理SIMカードAPN設定



図4-8

編集をタップするとAPN情報が編集できるようになり、同時に編集ボタンが保存ボタンに切り替わります。APN情報を編集した後に保存をタップすると入力したAPN情報を保存することができます。

4.7.4 ネットワークパラメーターの初期化

タップすると端末のネットワークパラメーターが初期化されます。セルラーネットワークにエラーが起きた時にこちらの機能をお試しください。

5 システム

5.1 管理者権限

システム> 管理者権限をタップして端末のパスワード設定と言語選択画面に入ることができます。



図5-1

5.1.1 端末パスワード

画面上部では端末のパスワード設定画面に入ることができます。



図5-1-1

詳細設定

パスワード設定: 端末にアクセスするためのパスワードです。パスワードを変更する場合はこちらに新しいパスワードを入力してください。👁️ をタップすると可視化できます。

パスワード確認: パスワードの入力が正しいかを確認するために、パスワードを再度入力してください。👁️ をタップすると可視化できます。

“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。



図5-1-2

詳細設定:

言語: 端末の言語を設定することができます。“简体中文”、“English”と“日本語”を選択することができます。“保存&適用”ボタンをタップすると設定が有効になり、“保存”をタップすると設定が保存されます。“戻る”ボタンをタップすると前の設定に戻すことができます。

5.2 初期化とアップデート

システム>初期化/アップデート”をタップして設定画面に入ることができます。



図5-2-1

詳細設定

初期化ボタン：タップすると端末を初期化することができます。

アップデート：ファイルを選択し、ボタンをタップすると端末をアップデートすることができます。※こちらの機能は通常時にご利用いただくことはございません。



図5-2-2

5.3 再起動

システム>再起動をタップすると再起動画面に入ることができます。ボタンをタップすると端末は再起動されます。



図5-3

6 ログアウト

6.1 ログアウト

項目の「ログアウト」をタップすると端末の管理画面からログアウトすることができます。

**To Access User Manual
Scan QR Code**









https://www.doracocon.net/pdf/yt40e_manual.pdf

安全上のご注意

○お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。


本文中や本体に使われている図記号の意味は、次のとおりです。


 危険	「死亡または重傷を負う可能性が高い」内容です。		してはいけないことを示しています。
 警告	「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。		しなければならないことを示しています。
 注意	「軽傷を負う、または物的損害の恐れがある」内容です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。


危険


次のような場所での使用・保管をしないでください。


- 高温になる場所（火気の近く、直射日光のあたる場所、電房器具の近くや炎天下の車内等）
 - 引火性ガスが発生している場所
 - ほこりや振動の多い場所
 - 冷気が直接あたる場所
- 火災、やけど、けが、故障の原因となります。

 風呂場や台所等の水気の近くや温気の多い場所では、使用・保管をしないでください。


 電子レンジ等の加熱調理機器や高圧容器に入れてください。


 分解、改造、加工、修理をしないでください。


 水や飲料水、ベットの尿等が濡さないでください。


 ACアダプターは、付属のもののみを使用してください。


警告


 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

 USB端子、有線LAN端子、電源端子、スイッチ等の開口部に水や異物等を入れないでください。


 使用中に布団等で覆ったり、包んだりしないでください。


 使用中に異音、異臭がする、煙が出る等の異常に気付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて使用を中止してください。


 雷が降り出したら、製品本体やACアダプターに触れないでください。

 濡れた手で触れないでください。


 電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。


 本製品は日本国内仕様です。


 コンセントにつながれた状態でACアダプターのDCプラグをショートさせないでください。


 製品本体やACアダプター、電源コードの上に重いものをのせないでください。


 周囲温度0～40℃で使用してください。


 指定の電源、電圧で使用してください。


 屋外では使用しないでください。


 テーブルタップを使用するときは定格容量以内で使用してください。


 電源プラグやDCプラグは奥までしっかりと差してください。


 定期的に電源プラグをコンセントから抜いて、ほこりを拭き取ってください。


 電源コードを傷つけないでください。


 結露や凍結等を使って配線する場合は、本体やACアダプター、電源コードに圧力がかからないようご注意ください。


 電源コードを束ねたままの状態や応力を加えたままの状態で使用しないでください。


 給電されているLANケーブルに接続しないでください。


 本製品の周辺に放熱を妨げるものを置いたり、毛布や布を被せたり、風通しの悪い場所で使用しないでください。

 電源プラグやDCプラグを抜き差しする場合は、コードを引っ張らず、プラグ部を持って抜いてください。

 長時間使用しない場合は、プラグをコンセントやソケットから抜いてください。

 製品本体に水等の液体が入った場合は、直ちに本体からDCプラグを抜いてください。

 お手入れの際は、プラグをコンセントやソケットから抜いて行ってください。

 お手入れの際は、アルコール、シンナー、ベンジン等をご使用にならないでください。

▲ 注意



くらついた台の上や傾いた場所等、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。



通電中に製品本体やACアダプターに長時間触れないでください。
低温やけなどの原因となる恐れがあります。



電源コードやLANケーブルに引っ掛からないように設置場所にはご注意ください。
故障、破損の原因となります。



電源コードを製品本体等に巻きつけないでください。
発火、発熱、故障の原因となります。



LANケーブルを抜くときは無理に引っ張らず、ソケットのつめの部分を押し、ゆっくりと引き抜いてください。
破損、けがの原因となります。



お子様の手の届く場所には置かないでください。
誤ってコードや部品を飲み込んで、窒息する等、傷害の原因となる恐れがあります。



本製品が破損したまま、ご使用にならないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

医用電気機器近くでの 取り扱いについて

▲ 警告



病院等使用を禁止された区域では、使用しないでください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については、各医療機関の指示に従ってください。



医用電気機器等を装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器等に悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。
電子機器が誤動作する等の悪影響を及ぼす原因となります。



ご注意ください。電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除動器、その他の医用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器等。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

本記事の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準じています。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- ・手術室、集中治療室（ICU）、冠動脈疾患監視病室（CCU）には持ち込まないでください。
- ・病棟内では、電源を切ってください。
- ・ロビー等であっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切ってください。
- ・医療機関が電気に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除動器を装着されている場合は、装着部から22cm以上離して使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養等により医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカー等にご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ 使用上のご注意

- ・本製品を落としたり、本製品に衝撃を与えないでください。
- ・本製品を極端な高温、低温になる場所で使用しないでください。
- ・本製品（付属品・梱包箱・緩衝材を含む）を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

○ 電波に関する使用上のご注意

- ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。
- ・本製品は技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵していますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造すること。
 - 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- ・本製品を次のような場所で使用しないでください。機能が制限されることがあります。
 - 本製品と同じ周波数帯（2.4GHz）を利用するBluetooth、その他小電力無線機器の近く。また、電子レンジ等の機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところでは、対象機器の使用中等、環境により電波が届かない場合があります。
- ・この装置は、クロスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

○2.4GHz機器使用上のご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・化学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ② 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、混信回避のための処置を行うか、使用場所を変更してください。
- ・本製品に貼られているラベルの見かたは次のとおりです。
 - 2.4: 周波数が**2.4GHz**帯を使用する無線装置であることを示します。
 - DS/OF: 変調方式が**DSSS/OFDM**方式であることを示します。
 - 4: 想定される干渉距離が**40m**以下であることを示します。
 - ■■■■: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。



○5GHz 機器使用上のご注意

- ① ご使用の機器が 5GHz 帯に対応しているかご確認ください。ご使用の機器が 5GHz 帯に対応していない場合は、2.4GHz 帯に設定して、利用して下さい。（本端末では、2.4GHz 帯と 5GHz 帯を同時に利用することはできません）
- ② 5GHz 帯を利用される場合において W52/W53 は法令（電波法）により屋外での使用は禁止されています。
- ③ 本製品を起動後に 5GHz 帯^{※1}を使用する場合は、周囲に気象レーダーなど無線 LAN と干渉を起こす電波がないか確認し、電波干渉を行さないチャンネルに接続します。（DFS 機能といいます）
尚、DFS 機能動作中は、無線 LAN によるインターネット接続ができませんのでご注意ください。
※1: W52 除く

○商標について

- ・本書内で記載されている会社名、団体名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

保証書

本書は無償保証規定に基づき、保証期間中に発生した商品の故障について無償修理をお約束するものです。

保証書 (Warranty)

商品名		
IMEI2		
お客様情報	お名前	
	ご住所	
保証期間		お買い上げ日から1年
お買い上げ日		20 年 月 日
※販売店印欄		

本書は記載内容の範囲で保証を行うことをお約束するものです。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

お客様へのお願い

お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。

ご記入頂いたお客様の個人情報は保証業務の管理のためのみ使用しますので、予めご了承ください。

販売店様へのお願い

お買い上げ日・貴店名・住所・電話番号をご記入の上、お客様にお渡しください。

※印欄に記入の無い場合は、納品書又は領収書等にてお買い上げ日及び販売店が特定できる書類が必要です。

ご注意

本書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて保証をお約束するものです。従いまして、本書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の保証などのご不明な点は、DoRACOONカスタマセンターまでお問い合わせください。

無償保証規定

1. 取扱説明書、ご利用にあつての注意事項に従った正常な使用状態のもとで保証期間内に故障した場合には、無償保証を受けることができます。保証を受けられる場合は、DoRACOONカスタマセンターまでお問い合わせください。
2. 保証期間内でも以下の場合は無償保証対象外となります。予めご了承ください。
 - (1)本書のご提示がない場合
 - (2)本書におけるお買い上げ年月日又は販売店の記載がない場合、あるいは納品書又は領収書等のお買い上げ日及び販売店の特定できる書類がない場合
 - (3)本書の字句を書き換えられた場合
 - (4)使用上の誤り、又は不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (5)お買い上げ後に本製品を落下又は外部からの圧迫等による故障及び損傷
 - (6)火災、自身、風水害、落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、異常電圧等の原因による故障及び損傷
 - (7)故障の原因が本製品以外の機器にある場合
 - (8)水濡れシールが反応している場合、水濡れ・結露等による腐食が発見された場合及び内部の基板が破損・変形している場合
 - (9)付属品等の消耗による交換
 - (10)シリアルナンバー及びIMEIの改変及び取り外しをしている場合
 - (11)取扱説明書の注意書きに従った正常な利用でない場合
3. 本製品の故障に起因する付随的な損害について、当社は一切の責任を負いません。
4. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
5. 本保証書の内容は日本国内において販売された製品のみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan)

※お客様の端末の状態によっては、本製品の修理のご要望に対して本体を代替品に交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。代替品への交換時に、同機種製造が終了し交換在庫が無い場合、後継機種への交換となります。

修理を行う場合、お客様が作成されたデータ又は外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどは変化、消失する可能性があります。代替品又は後継機種への交換を行う場合、これらのデータは交換後の製品に差し替えることはできません。当社は、これらデータの変化、消失について何ら責任を負うものではありません。

※修理及び代替品への交換は、お客様がお持ちの端末を当社にお返しいただいた後、当社で検査を行い無償保証対象と認めたもののみ実施されます。

※代替品に交換する場合、故障品の所有権は交換する代替品をお客様が受領された時点で当社に移転されるものとします。故障品は必ずご返却ください。

